



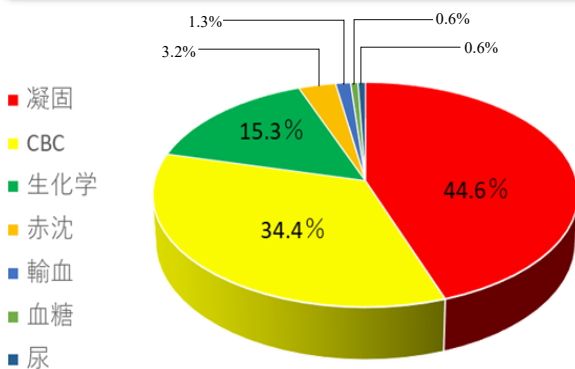
MENU

1. 採血不備による再採血の原因
2. 検体検査ってどうやってやるの？～血液型検査編～
3. *Clostridioides difficile* トキシン検査はBristol Stool Scale 5以上の下痢便を対象としています
4. 臨床からよくある問い合わせ～生理検査～

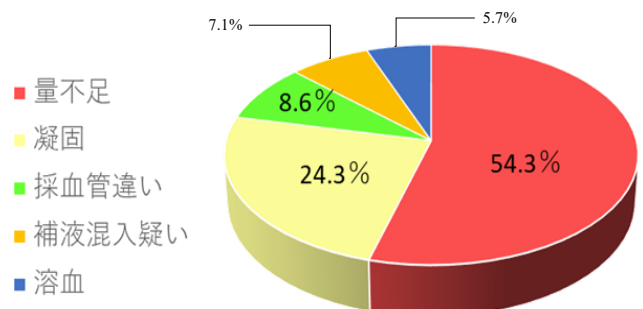
1. 採血不備による再採血の原因

正しい検査結果を得るためには採血管の選択が重要です。しかし、正しい採血管を選択したとしても、採血量や採血後の処理が不適切だと正しく検査を実施することはできません。今回、採血不備による再採血が必要となった事例について集計を行ったので、ご紹介します。

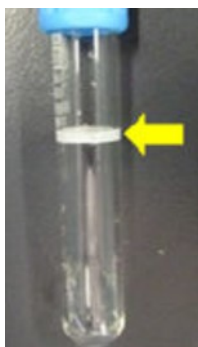
再採血が必要となった採血管の種類



凝固検査の再採血要因



(2018年10月～2019年3月集計)



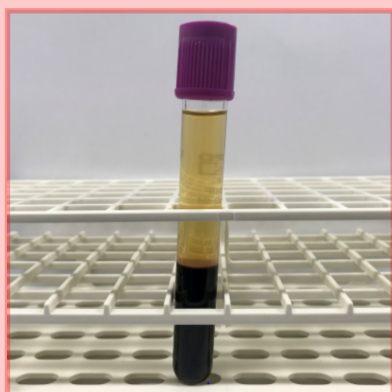
凝固検査は左図のように、ラインまで採血すると規定量になります。少なくとも多くても正確な結果が得られませんので、ご注意ください。

お問い合わせ：血清検査室 内線36460

2. 検体検査ってどうやってやるの？-血液型検査編-

血液型検査は、患者さんに適切な輸血を行うために、赤血球上の抗原や血漿中の抗体を調べます。まず、自動分析装置により測定し、その結果に応じて技師が用手法による確認検査を行います。

自動分析装置



遠心分離した検体



自動分析装置による測定



判定

判定保留の場合、用手法で確認

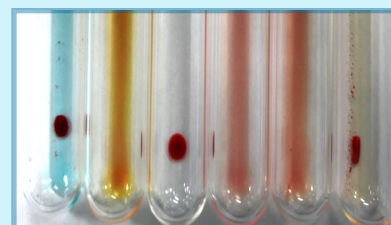
用手法



判定保留



技師による検査







凝集の有無を判定

お問い合わせ：輸血検査室 内線36410

3. *Clostridioides difficile* トキシン検査はBristol Stool Scale 5 以上の下痢便を対象としています

Clostridioides difficile (CD) による感染症のほとんどは、下痢を主症状とする腸炎です。そのため、CDトキシン検査は下痢症状のある患者の便を対象としています。CD感染症診療ガイドラインでも、Bristol Stool Scale 5以上の下痢便を対象とすることが推奨されています。

Bristol Stool Scale による便の性状分類

Bristol Stool Scale	形状
1	 硬く、コロコロとしたうさぎの糞のような便
2	 ひと塊ではあるが、硬く固まり、ごつごつとした便
3	 ソーセージ状ではあるが、水分が少なく、表面がひび割れている便
4	 ソーセージ状で適度な水分があり、表面はなめらかで軟らかい便
5	 水分が多く、やや軟らかい半分固形の便
6	 形状を保てない泥のような便
7	 水様で固形物を含まない液体状の便

Blake MR, et al. Aliment Pharmacol Ther. 2016より一部改変



CDトキシン検査対象下痢便

お問い合わせ：細菌検査室 内線36450

4. 臨床からよくある問い合わせ

今回は腹部超音波室で行っている各検査について、よくある質問をピックアップしました。解決できなかった方は下記までお問い合わせ下さい。

Q 腹部エコー検査で、絶飲食とするのはなぜですか？

A 食事をすると胆嚢が収縮し、観察不良となります。また、腸管ガスや胃の内容物により、他の臓器も観察しづらくなるためです。

Q 腹部エコー検査前は絶飲食ですが、少量の水も飲んでもはいけませんか？

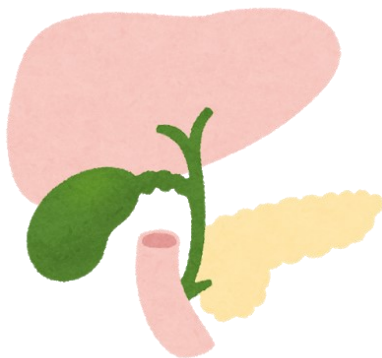
A 薬を内服するための少量の水を飲むことは、問題ありません。お茶、コーヒー、スポーツ飲料は控えてください。

Q 腹部エコー検査で検査前に排尿を控えるのはなぜですか？

A 超音波は水への透過性がよく、膀胱に尿がたまっていると前立腺、子宮、卵巣などの骨盤内臓器が観察し易いためです。

Q 足に血栓がないか超音波検査で調べてほしいのですが？

A 下肢静脈血栓の検索は、「深部静脈エコー」で行っています。電子カルテのオーダー画面から、「腹部超音波検査」→「深部静脈エコー」で入力ください。また、検査をお急ぎの場合は電話連絡をお願いいたします。



お問い合わせ：腹部超音波室 内線36590

広報委員：盛合亮介、古谷桃子、蕪澤慎也、安井謙司、小林 亮、片山雄貴